


金融界のオピニオン専門情報誌

週刊金融財政事情

Financial Affairs

媒体資料

広告料金表

発行元  一般社団法人金融財政事情研究会

広告総代理店 株式会社金財エージェンシー

〒160-0012 東京都新宿区南元町 19
TEL:03-3355-1618 / FAX:03-5269-4744
<https://kinzai-ag.co.jp/>

週刊金融財政事情

Financial Affairs

本誌は1950年に創刊され、その後の金融・財政の歴史とともに歩みを進めてきました。通巻3300号超にわたる刊行を続けることで、金融界のオピニオン誌としての地位を確立してきたと自負しています。

雑誌メディアの価値を測る一つに、より多くの人目に触れるかどうかという要素があります。多数の人が手に取るということはコンテンツに魅力がある証拠であり、作り手はそれを目指して原稿の執筆・編集に当たっています。本誌の読者は「金融業界の関係者および金融の動向に関心をもつ方々」が中心ではありますが、そのなかでより多くの人目に触れるよう誌面のあり方を考えています。

また、雑誌メディアの価値を決める別の要素として、それを手に取った人が本当にその中身を読んでいるかという点も重要です。その点、本誌の読者は書かれている内容を真剣に読んでいます。なぜなら、組織のなかで物事を判断し、意思決定の責任を負う立場の人が必要とするテーマを本誌は取り上げているからです。金融機関の経営者、人事や企画部門のスタッフ、営業店の幹部といった方々が、仕事上の解決策の手がかりを求めて本誌を手にするのが極めて多いのです。

一方、本誌は金融機関のみならず、財務省・金融庁・日本銀行をはじめとした関係当局や金融に隣接する業種の企業、弁護士・会計士といった専門家にも幅広く読まれています。こうした方々が金融業界への理解を深めるに当たり、「本邦唯一の金融専門週刊誌」たる本誌こそが極めて有力な情報源であると評価いただいているからでしょう。

本誌には、金融機関の経営者や関係当局の幹部など業界のキーパーソンが多数登場する点も、一般誌とは異なる大きな特徴です。そうした方々が誌面を飾ることで、読者からの支持がより高まるという好循環は創刊の頃から変わらぬ本誌の強みです。また、読者が知りたい情報を深く掘り下げて発信する誌面作りも、創刊の頃から本誌が貫くこだわりであり、現在のコロナ禍においてもその姿勢は一切変わっておりません。

本誌への広告掲載は、金融機関で意思決定する立場にある役職員、監督当局や業界団体の関係者、弁護士・会計士などの専門家といった読者層に対する認知度向上にお役に立てるはずです。本誌の読者が誌面で貴社の広告をみかけた際、高い信頼感をもって受け止めることは間違いありません。

編集長 北山 桂

—最近の特集記事—

金融サイバーセキュリティー再点検（2020年4月6日号）

解禁進む銀行の副業・兼業（2020年4月13日号）

米国は沈むか（2020年4月20日号）

コロナ禍に身構える邦銀経営（2020年4月27日号）

金融サービスの手数料問題を考える（2020年春季合併号）

本当に実践すべき経済対策（2020年春季合併号）

コロナ倒産を回避せよ！（2020年5月18日号）

猛進するオンライン社会（2020年5月25日号）

コロナショックに揺れる企業会計（2020年6月1日号）

未曾有の危機下の年金運用（2020年6月8日号）

本当の中国経済（2020年6月15日号）

緊迫 ポストコロナの経済財政（2020年6月22日号）

始動するデジタル証券「STO」（2020年6月29日号）

脱炭素社会への課題（2020年7月6日号）

遂に本格活用「マイナンバー」（2020年7月13日号）

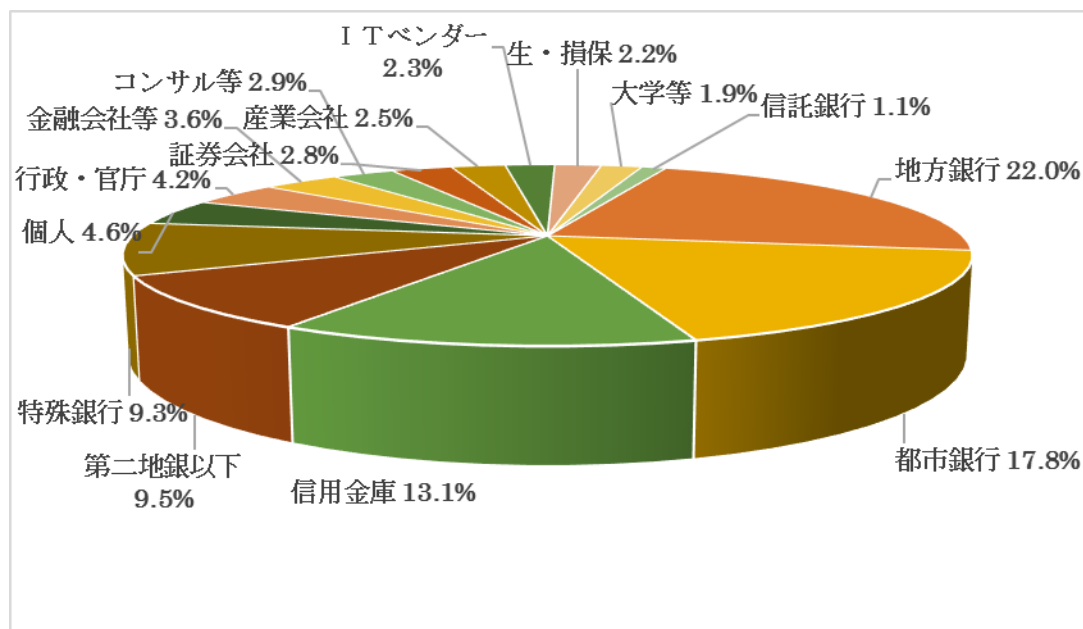
考察！銀行の業務範囲規制（2020年7月20日号）

週刊金融財政事情

Financial Affairs

《業態別配布状況》

発行部数(オンライン版を含む) 33,600 部



毎号「週刊金融財政事情」は183,000人に閲覧されています！

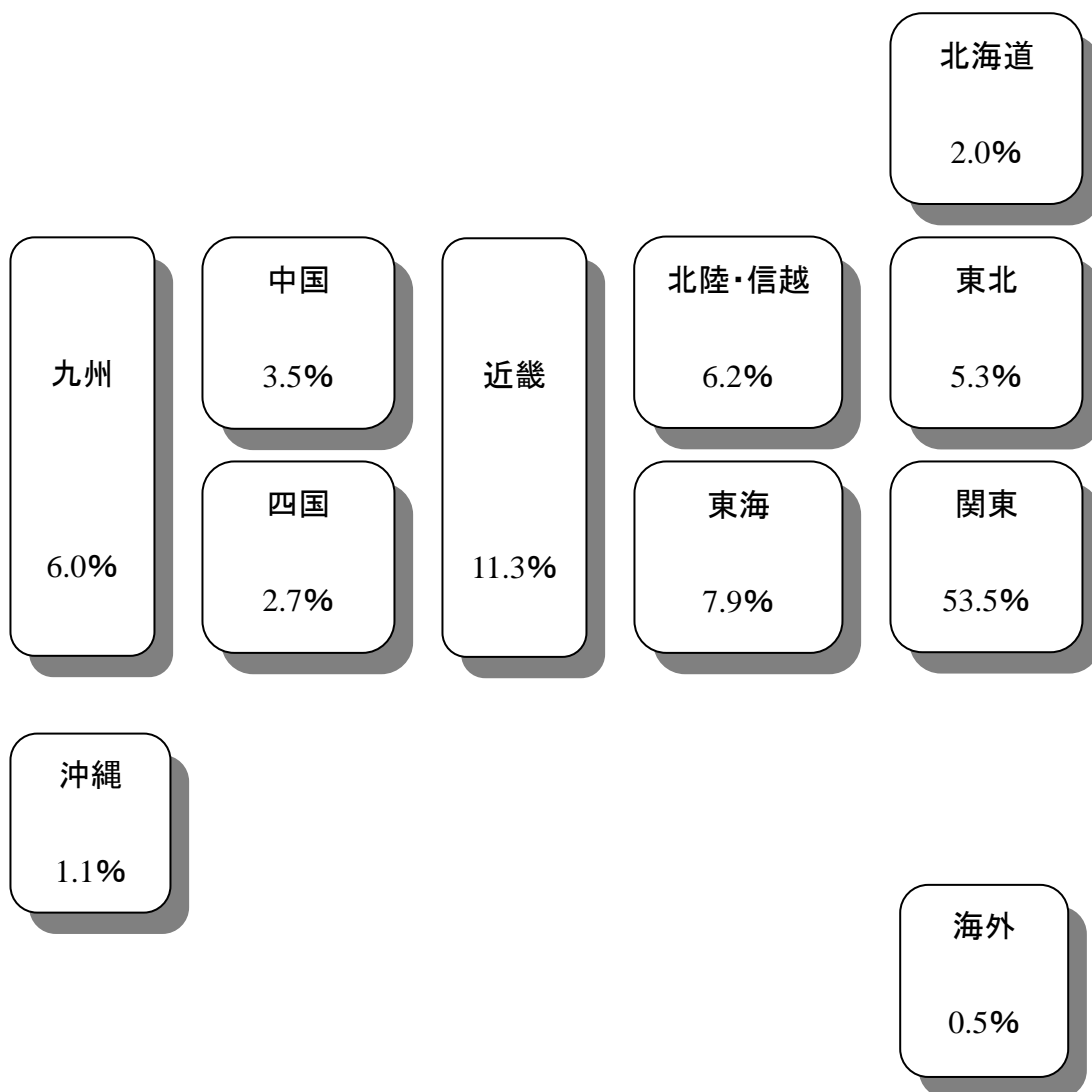
以前編集部で実施したアンケート調査の結果、回覧の最も比重の高いのは、3人(30.6%)、ついで4人(25.3%)、5人(24.7%)の順で、4人以上の回覧率は実に70%に達しております。

本誌の回覧の特長としては、本部、本店、支店を問わず、決裁権をもつ役員・役席者に多く読まれていることです。

週刊金融財政事情

Financial Affairs

《定期購読全国分布状況》



週刊金融財政事情

Financial Affairs

- ◆発行 行 一般社団法人 金融財政事情研究会
- ◆発行(発売)日 毎週 月曜日発行・発売 (年間 47 冊)
- ◆判 型 B 5 判
- ◆発行部数 33,600部

広告料金表

掲載面	入数	色	サイズ 天地×左右・シ	料金(円)/税別
表4	1P	4C	242×170	550,000
表2	1P	4C	257×182	450,000
表3	1P	4C	257×182	400,000
	1P	1C		300,000
前G 表2対向	1P	4C	257×182	380,000
前G 本文対向	1P	4C	257×182	370,000
中G	1P	4C	257×182	360,000
	2P	4C	見開き(257×(182+3))×2P	720,000
	4P	4C	1P=(257×182) 2P・3P=(257×(182+3))×2 4P=(257×182)	1,440,000
見開き原稿の場合は、本誌が無線閉じの為、左右いずれの頁も見開き中心線から3ミリずつ合計6ミリの断裁の為の白をとってください。又は、右頁・左頁をそれぞれに分けて257×182で作成してください。中央の断裁分を切落として使用する場合は、257×370で作成してください。				
本文	1P	1C	257×182	200,000
	ヨコ1/2	1C	103×147	120,000
	タテ1/3	1C	214×45	90,000
	ヨコ1/4	1C	44×147	70,000

※原稿(入稿データ)締切日… 発行1ヶ月前

* 広告窓口(広告総代理店) *

株式会社 金財エージェンシー

〒160-0012 東京都新宿区南元町19

TEL:03-3355-1618/FAX:03-5269-4744

<https://kinzai-ag.co.jp/>

一般社団法人 金融財政事情研究会 発行

【定期刊行誌】

金融・経済人のための専門情報誌

「週刊 金融財政事情」

1950 年創刊

金融庁をはじめとした行政官庁、日本銀行、金融機関、商社、一般企業、大学、研究機関など、政財学界・法曹界の幅広い読者層が支持。特に、金融機関のトップをはじめとした首脳・幹部、すなわち金融界マネジメント層からはとりわけ大きな支持を得ており、頭取、理事長はもちろんのこと、役員や本部の部長、営業店長の必読誌と位置付けられています。

* 定価：648 円＋税／年間購読料：25,200 円＋税

実務の現場に必要な法務知識を提供する

「金融法務事情」 毎月 10 日・25 日発行

1953 年創刊

金融実務の法律顧問として、金融機関のリーガル部門や融資部門、各本・支店でのご必読・必備の専門誌として幅広く活用されています。

* 定価：1,200 円＋税／年間購読料：21,000 円＋税

わが国唯一の消費者信用に関する総合専門誌

「月刊 消費者信用」

1983 年創刊

クレジット&ローン、ペイメントビジネス業界や、財務省・金融庁・経済産業省等の行政官庁から、「経営トップから企画スタッフ、新入社員までの必読誌」と位置付けられ、消費者信用にかかわる様々な分野へと浸透しています。

* 定価：1,400 円＋税／年間購読料：16,800 円＋税

高度な専門性に裏打ちされた回収・再生業務の季刊誌

「季刊 事業再生と債権管理」

1978 年創刊

事業再生と信用リスク管理の実務に焦点を絞り、年4回発行。金融機関、サービス、弁護士、公認会計士、税理士等必読の債権回収の極大化と事業再生・承継・転廃業支援のノウハウ満載の情報誌です。

* 定価：2,800 円＋税／年間購読料：9,600 円＋税

実務に活かせる情報が満載の FP 専門誌

「KINZAI Financial Plan」

1989 年創刊

ファイナンシャル・プランナー(FP)はじめ、関係する法人・部署をターゲットとする、わが国で最も歴史のある FP のための実務情報誌です。

* 定価：505 円＋税／年間購読料：6,000 円＋税

信頼できる確かな情報でリード

「月刊 登記情報」

1961 年創刊

司法書士、土地家屋調査士、弁護士事務所、金融機関、裁判所、大学など幅広い読者層をもつ、登記関連実務をリードする専門情報誌です。

* 読者直接申込制／年間購読料：9,612 円＋税